

## 【戸塚区】平成 28 年第 1 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開催日時       | 平成 28 年 2 月 8 日(月) 13 時 30 分 ～ 15 時 00 分                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 場 所        | 戸塚区総合庁舎 9 階特別会議室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 出席者        | <p>【座 長】山浦英太議員</p> <p>【議 員：5 名】鈴木太郎議員、岩崎ひろし議員、坂本勝司議員、中島光徳議員、伏見幸枝議員、</p> <p>【戸塚区：22 名】田雑由紀乃区長、大森素治副区長、塚本光俊福祉保健センター長、林昭宏福祉保健センター担当部長、鈴木健一土木事務所長、坂本浩戸塚消防署長 ほかに関係職員</p>                                                                                                                                                              |
| 議 題        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度個性ある区づくり推進費戸塚区予算案</li> <li>・戸塚区総合庁舎における庁舎改善状況等</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                        |
| 発言の<br>要 旨 | <p>伏見議員：P 7 「がんについて考えよう～とつかがん対策事業～」について、女性特有のがんや子育て中のお母さん方は、検診が受けづらいので、こういう取組は非常に有難い。</p> <p>講演会を実施するということが、そういう場で検診車による検診は実施するのか。</p> <p>嘉代福祉保健課長：事前に予約いただいた区民の方を対象に、マンモグラフィ車による検診を実施したいと考えている。</p> <p>伏見議員：乳幼児健診など、お母さん方がたくさん集まる機会を活用して、できれば乳幼児健診と同時にがんの検診を受診できるように考えていただきたい。</p> <p>岩崎議員：市の予算案の中に貧困対策の強化があるが、区で何か取組があるのか。</p> |

田雑区長：区づくり推進費予算の中で、特に貧困対策ということはあらわれていないが、自立支援の強化、ジョブスポットでの仕事の紹介のほか、昨年から実施している学習支援をさらに充実させていきたいと考えている。

岩崎議員：P 3 「とつか地域づくり支援事業」について、地域の居場所運営の支援を受けるための申請の仕方や選定基準はどういうものなのか。

寒河江区政推進課長：要綱に基づいて審査し、補助金を支払っている。

岩崎議員：その要綱を資料としていただきたい。

P 5 「『災害に強いまちとつか』に向けた防災・減災事業」の「大防災フェア」は、戸塚区が主催しているのか。また、来年度の内容を教えてください。

福島総務課長：戸塚区が主催しており、消防、警察、海上保安庁など関係機関の協力をいただいた。来年度も同じ内容で実施したいと考えているが、いくつか自助・共助につながる取組を新たに取り入れていきたい。

岩崎議員：区庁舎の改善については、区民の方から多くの声があがっていたので、こういう形で、できるものから改善されてよかったと思う。区民の方からのご意見によるものなので、改善の内容を広報した方がいいと思うが、どういう方法で広報するつもりなのか。

福島総務課長：広報する予定はなかったが、今後検討し、広報していきたい。

中島議員：防災に関連して、戸塚区に28年度から崖地28か所の調査が入ると思うが、予定、状況はどうなっているのか。

福島総務課長：局の調査が、28年12月から現地に入り、29年3月には現地調査を終了し、6月頃に公表されると聞いている。

中島議員：280か所すべて調査するのか。

福島総務課長：そのとおりです。

中島議員：戸塚区は横浜市で一番崖地が多く、崖地対策は大事な事業である。いつ台風がきて、どういう状況になるかわからないので、スピード感を持って対策を進めていただきたい。毎回避難する区民の立場にたって、避難場所がどういう環境になっているのかということも含めて、対策を進めていくべきである。

P5「『災害に強いまちとつか』に向けた防災・減災強化事業」について、実施内容をみると、イベントなど区が中心となったものが多いが、具体的に地域のためにどういうことをするのか教えていただきたい。

福島総務課長：自助・共助の重要性をアピールしていきたい。また、啓発活動を通じて、自主的な避難ということを重要視していきたいと考えている。

中島議員：終了事業の「おしゃべり広場モデル事業」について、モデル事業を実施した結果と、28年度の実施内容を教えていただきたい。

岩井こども家庭支援課長：27年度は6月から事業を開始し、1,293人の方にご利用をいただき、1回あたり23人と、他の会場より若干多くなっている。参加された方には大変好評で、特に土曜日のご利用が多くなっている。28年度は、指定管理者が行うことになるが、内容については現在調整で、同様のサービスを引き続き提供できるよう努力していきたい。

中島議員：区庁舎の改善については、非常に多くの方からいただいた要望が少しずつ改善されているので、是非、広報していただきたい。

この中で、エレベーター前のベンチは、もう少し工夫をして、利用者が多いところほどニーズも高いと思うので、安全面がクリアできれば、全部の階に設置していただきたい。

P7「がんについて考えよう～とつかがん対策事業」について、28年度はスタートの年だが、次の段階では、戸塚区は開業医も多く、病院も多いので、連携して進めていただきたい。

また、区長のがん対策の意見があれば、伺いたい。

田雑区長：がん検診の重要性を呼びかけただけでは、なかなか検診率は上がらないと思っている。乳がんは早期発見に効果があるので、まず、そこに注目し、啓発を進めたい。今後は、その他早期発見に効果があるがんについても、順次、力を入れていきたい。

坂本議員：区庁舎の改善については、区民の意見に対応していただき、感謝申し上げたい。

しかし、今日も地下から9階まで10分かかった。非常に多くの方が地下に滞留されていて、さらなる改善が必要だと思う。

エスカレーターの設置については、前向きに検討していただきたいと思うが、どうせ検討するなら、2階から3階だけでなく、1階レベルから2階へ移動できるエスカレーターがあると、非常に使い勝手がよくなる。今、天候に左右されないエスカレーターもあるので、この検討の中に含めて複数の動線を確認し、区庁舎の利便性を高めていただきたい。

また、階段の有効活用がなされていない。区庁舎の階段は少し閉鎖的なので、少しカラーリングを明るくしたり、また、健康につながるようなアナウンスで階段利用を促すなど、改善を進めていただきたい。

今年の出初式では、一斉放水の数が少なかった。多くの区民が楽しみに一斉放水を見に来られているので、目標の数を確保することも必要だと思うが、その辺はどのような形で進められているのか。

坂本戸塚消防署長：一斉放水の数は、例年は40口程度で、今年は28口であった。実行委員会でも来年は見直そうという話になったので、検討していきたい。

坂本議員：出初式での放水は、大防災フェアとともに、たくさんの方が楽しみにしている。戸塚区の防災力をアピールするためにも是非お願いしたい。また、ホールに入らない人を対象に、柏尾川河川敷で防災に関して何

か触れ合えるものが必要だと思うので、検討をお願いしたい。

P 6 「交通安全・放置自転車対策事業」について、交通安全のこども達への教育が進められているが、ルールを守っていないのは、おとななので、おとなへの教育が必要だと思うが、その辺どう考えるか。

高嶋地域振興課長

そのような要望を多くいただいております、安全協会、警察、母の会と一緒に啓発を行っている。警察も道路交通法の改正に合わせて対策を強化したいと言っているので、一緒に啓発を進めていきたい。

坂本議員

P 10 「活気あるとつか商店街支援事業」は、健康ウォーキングと連携したマップを作成しているが、歴史との連携も必要だと思う。P 11 「歴史を生かしたまち育て事業」との連携を検討した経緯があるのか伺いたい。

高嶋地域振興課長

今年度から、ウォーキングマップに商店街、リーダー設置店、読書ができる場所などの情報も掲載した。また、昨年、戸塚の歴史を紹介する「とつか歴史ロマン」を発行して歴史資源を紹介するなど、区民の皆様が散策できる工夫をしてきた。今後も、区政推進課の事業と連携して進めていきたい。

坂本議員

P 11 「区内女子スポーツ普及・応援事業」について、区民へのPR方法としてどのようなことを検討しているのか。

高嶋地域振興課長：HPでの公開のほか、今年はパネル展を開催し、選手一人ひとりのプロフィールなどを掲示したほか、女子中学生の野球も紹介した。また、各種イベントなどを通じて、女子スポーツチームと交流させていただいている。

坂本議員：こども達へのPRとして、PTAとは連絡をとっているのか。

高嶋地域振興課長：PTAとは連絡をとっていないが、子ども達を対象としたイベント等については、校長会を通じて各学校へ参加をお願いしている。

鈴木議員：区庁舎2階から3階の動線の課題に関する調査検討費に200万円計上していただき、よくやっていただいたと思っている。

P8「『地域の子育て支援者』アシスト事業」は、実施内容をみると、養育者というより養育者を支援する方々をトレーニングしていくということだが、全体の構想として、どうやって戸塚区に生活している養育者のレベルをあげていくのか、戦略性をお聞かせいただきたい。

岩井子ども家庭支援課長：他の区では職員が直接トレーナーをしているところもあるが、異動が伴うので、戸塚の中に資源として浸透していけるしくみが大切であると考え、トレーナーを地域の中で養成するということを考えた。民生委員や児童委員、保育園の先生方が、スキルを發揮して戸塚の中で活動し、支援者をアシストしていくというかたちで事業を展開していきたいと考えている。支援者を養成したあとの具体的な取組については、今後、調整しながら進めていきたい。

鈴木議員：事業を広げるためには、区役所全体で取り組むことが必要だと思うので、よろしく願いしたい。

P3「インターンシップを活用した学生モニター事業」について、事業の手法を変えているが、やってみてどうだったのか、結果を踏まえて今後どうしていくのか。

寒河江区政推進課長

今年度のインターンシップ事業は、当初、戸塚区近隣の学生を想定していたが、実際は21名中、近隣の大学からは2名、戸塚在住の方は、6名であった。また、市のインターンシップは定員に対して申込みが超過しており、半数近くが受け入れてもらえない状況であることを踏まえ、28年度は、インターンシップの募集は市の制度を活用し、戸塚区で実習された方にはモニターとして活躍していただくという手法に変えた。

今後は、より魅力あるプログラムを提供し、募集をかけていきたいと考えている。

鈴木議員：区政モニターがメインだというなら、事業の目的をはっきりしておくべきである。学生が市役所の仕事に興味を持ってもらうことが目的なら、予算を使う必要はない。目的をしっかり持って進めてもらいたい。

P9「障害児スマイル事業」に関連して、戸塚には東俣野特別支援学校があり、かなり重度の子もスポーツをやりたいと思っているので、パラリンピックに向けて、スポーツを楽しむ機会を増やす取組が必要であると思う。聖母の園や横浜薬科大にはテニスコートがあり、彼らは地域といろいろやりたいと思っている。また、障害者のテニスを振興するNPOが横浜市にあり、これらをうまくマッチングし、区役所が交通整理をするとすぐ実現できるのではないかと思う。戸塚区の特徴づけとして、東俣野特別支援学校は戸塚区の資源と考えたほうが、魅力づくりのためによいと思っているので、是非、検討してもらいたい。

P9「高齢者見守り事業」に関連して、夫婦が東京に勤務している世帯が、いきなり介護に携わらなければならなくなったとき、行政との接点がなく、情報がいかないため、パニックになるという話を聞いた。見守りネットには、企業も参加しているので、行政がすべてをやるのではなく、企業で従業員の家庭の介護の相談が受けられるようになり、情報提供できるようになれば、少しでも不安が緩和するのではないかと思うので、そういう仕掛けも工夫していただけるとありがたい。

上島高齢・障害支援課長

日本全体で問題になっている現象である。仕事で忙しい方々に情報が行き渡るようにすることは、大きな課題だと思っている。ネットでできるだけ分かるようにして欲しいという声をいただいております、局と相談しながら進めていきたい。

鈴木議員

P12「都市計画マスタープラン・区プラン改定事業」の基礎調査等とは何をやるのか。

寒河江区政推進課長

人口動態等の基礎調査を行いたいと考えている。

鈴木議員

都市整備局によると高速鉄道3号線の延伸の検討について、来年度は、東戸塚まで一気に延伸した場合の事業性はどうかということも含めて検討すると言っている。さらに、2年間調査してきたが、東戸塚駅の駅舎の改良は先送りで、周辺の街づくりに合わせて、駅の混雑緩和について考えると言っている。これだけ大きな要素が見えている中で、駅周辺のまちづくりの方向性を、位置づけを含めてしっかりと検討していかなければならないと思う。

また、横浜環状南線と湘南道路の結節点となる田谷インター周辺は、道路が通り、生まれ変わることになるが、周辺の街づくりについては検討されていないのが実態である。区のプランをつくるときに特に検討していただきたい。

中島議員

P4「戸塚区民まつり事業」について、区民まつりの課題認識があればお聞きしたい。

高嶋地域振興課長

地域の要望として、まち全体として商店街などの回遊性を深め、地域との関わりを深めてほしいという意見があるので、30回目という節目であり、何か地域との交流事業などをできないか検討していきたい。

中島議員

区民まつりについては、マンネリ化しているという声も聞こえている。こどもから大人まで参加しているが、どうしても大学生がいないと認識している。戸塚は大学があるので、若い世代が参加できるようなことも大事だと思うので仕掛けを考えていただきたい。

P10「活気あるとつか商店街支援事業」に関連して、区商連加盟店が増えていると聞いているが、数字がわかれば教えてほしい。



高嶋地域振興課長

トツカーナモールが 91 件、東急プラザが 29 件、120 件増えた。

中島議員

女子スポーツに関連して、横須賀にシーガルズの育成組織があったが、4月から戸塚にくるということで、連携をとりながら事業を進めていただきたい。

学童保育の柏尾台が移転するという情報があったが、情報共有した方がいいと思うのでお聞きしたい。

繁野学校連携・こども担当課長

かつて、耐震上問題がある施設に入っていたものを、現在は横浜市の施設を借りていただいで運用しているが、そこも未来永劫というわけではなく、新たに場所が見つかれば移転していただくということで話をしている。地域の方と話し合いを進めていければと思っている。

中島議員

心配されている方もいるので、次の場所が見つかるまでは、出ていくということはないとはっきり言っていただきたい。

鈴木議員

全国都市緑化フェアについて、各区の取組があると聞いているが、戸塚区の状況を教えてほしい。

寒河江区政推進課長

検討中だが、駅周辺でのプランターによる植栽、垂れ幕等による周知を行いたいと考えている。

田雑区長

こども達、スポーツ、音楽など、戸塚の資源を生かして、あとに残るようなものも加えていきたい。

鈴木議員

緑化フェアについては、戸塚に限らずどこもしょぼいというのが自民党の認識である。もう少し考えてほしい。戸塚は造園業者も多いので、そういう方も巻き込んで、もう少し考えてほしい。

坂本議員

多目的ホールの使用について、飲み残しが発生したとき、持ち帰りというかたちになっており、利用者からすると不便であるという声を聞いている。

高嶋地域振興課長

検討させていただきたい。

坂本議員

市有地の利用について、昨年事業説明を受けた時と状況が変わっているのか、お聞きしたい。

白井土木事務所副所長

公募した時の内容と変わらないと聞いている。テナント等を募集したいと聞いているので、今後、都市整備局、財政局のほうからご報告させていただきたいと思っている。

坂本議員

施設には、地域活動交流拠点が入るので、議員団の方には報告をお願いしたい。

山浦議員

道路局の予算で、「住み続けたいまち・みちづくり推進事業」があり、戸塚駅が入っているが、戸塚駅東口を中心に計画が進められるということでのよいのか。

鈴木土木事務所長

戸塚駅東口だけではなく、東口デッキのバリアフリー、東西のバス路線の再編、西口の道路改良など、東西の交通問題を総合したものを、道路局、

区役所、土木事務所で議論を進めている。

山浦議員

戸塚駅東口のバス乗り場からタクシー乗り場へいく道には横断歩道がなく、渡る人が多く危険なため、整備の優先順位は高いと理解しているので、当局とも連携を深めていただきたい。

備 考